学校教育目標「認めあい　支えあい　高め合う」

あ ゆ み

令和６年度２月号
令和７年２月４日発行

八潮市立八潮中学校
八潮市中央１－１－２
TEL:048-996-4219
生徒数　５７９人

１秒の言葉

校長　土谷 昌秋

私たちの話すスピードがどのくらいか知っていますか？
大まかに４００字を１分で話します。１分間スピーチがだいたい４００字原稿用紙１枚分です。

たった１秒で心を温かくしてくれる言葉があります。
それはたった５文字の「ありがとう」です。
この１秒の言葉は魔法の言葉です。言われると心がじわっと温かくなります。

こんな手紙があります。

「お母さん、雪の降る夜に私を生んでくれてありがとう。もうすぐ雪ですね。」

これは、日本で一番短い手紙というコンクールで大賞に輝いた作品です。きっとこの手紙を書いた人は雪が降る晩になるたびに遠く離れた母のことを思い出しているのでしょう。
なんて素敵な１秒の言葉だと思いませんか。胸が熱くなります。

ここで思い浮かべてみてください。一番最近あなたが言ったこの１秒の言葉、いつですか？

学校生活の中で「ありがとう」という、たった１秒の言葉が大切にされる毎日を皆さんにつくり出してほしいと思っています。
言葉には「言霊」という神様が宿っていると大昔から日本人は信じてきました。
温かな言葉を使えば自分も相手も目に見えない言葉というもので温かくなります。
逆に、冷たい言葉を相手にぶつければ、相手どころか実は自分も冷たい気持ちになってしまいます。

「ありがとう」という言葉にはきっと温かな「言霊」が宿っているのでしょう。

大切にしたい言葉です。

ありがとう